

矢田八幡神社所蔵棟札寫

矢田八幡社所蔵棟札寫

壹（表）

千時 寶永三年丙戌五月朔日

戊
五月朔日

千時 寶永三年丙戌五月朔日
奉上棟妙見大菩薩御建立天中天迦陵頻伽聲
氏子繁昌五穀成就富貴自在守所

壹（裏）

印南原村
口口口衛門
大工
藤井村
新兵衛
藤井村

印南原村
本願從玄子村

本願從玄子村

札落 江河村 平三郎
江川 村 五郎衛門

□
□
新村 □兵衛
八

貳
(表)

寛永拾四年

梵字 一所之 大宮 大砂妙現神奉造立仍祁
土生村 新兵衛?

助口五十弥宗
郎郎右兵衛
六兵右兵工衛
衛工衛門
門

善右衛門
五郎兵衛
與九郎
與太郎
二郎三郎
右左衛門

二郎

源傳
八吉

敬 けん 白 こ 村

あねぬの壹たん御きしん

貳
(裏)

日野との丑年
十月吉日
五大夫
助藏
源右衛門

平二
善五郎
弥五郎
作三郎
衛門

源太夫
百五十御き志ん
源七郎
右門ぬの壹たん御き志ん
孫市
六十御きしん
おばぬの壹たん御き志ん
玄固寺貞残奉書也

参
(表)

元禄六曆
氏子中
御両社
御造當
奉加覺

一、米壹石
湯川太郎
左衛門

一、白銀
土生本村
庄屋

瀬戸平次
白銀
地頭伊左衛門
神主兵衛和隆
同百珍在
目

朝岡助重郎

癸酉

霜月日

增右衛門

壹人二付

一、銀四十三匁
米貳石四斗
三右卫門
三人ニ付ハ斗ツツ

彦四郎・與三兵衛・
孫右衛門・久右衛門・
助九郎・青右衛門

一、米四斗快行院

一、	米四石	壹人四斗ツツ	和右衛門	六大夫	重兵衛
			與一郎	市右衛門	
					吉右衛門
	次左衛門	次郎右衛門			
徳右衛門	安大夫	七兵衛			

一、米貳石壹斗	善六太郎
庄藏菊右衛門	吉右衛門
九右衛門	三郎
壹人三斗ツツ	菊右衛門
忠左衛門	善六太郎

一、米壺斗五升
同壹斗五升
左衛門太夫

小熊村

是迄土生村分

一、同壹斗 来迎寺

六右衛門 九右衛門 安右エ門
喜入ニソキ戻斗ソソ

新右衛門
角太夫

加兵衛 新右衛門 茂次兵衛
助六 左衛門 長兵衛

一、米壹石

一
三
半

一
米三斗貳升
作宇太工那門ね
長兵衛清右衛門次太夫

一、
米壱斗 権右衛門
白銀拾七匁弐分五厘
おとく おくろ母
半右衛門

作右衛門 後家 茂太夫 母七兵衛

後家 清兵衛 惣五郎
おさい おかね 市兵衛

一、米貳石	林九郎左衛門
米八斗	玉置勢右衛門
武左衛門	庄ヤ
一、米四石	九太夫 四郎兵衛 三太夫
米五斗	長左衛門 壱人六斗ツツ
同壹斗五升	權太夫 加右衛門 七兵衛
同貳斗五升	喜兵衛 喜右衛
一、米四石	喜太夫 市右衛門 源八
孫右衛門	太郎右衛門 吉太夫
六兵衛	長兵衛 八右衛門
長太夫	半四郎
一、米貳斗	喜太夫 壱人四斗ツツ
與右衛門	利右衛門
米壹石貳斗	利右衛門
同壹斗五升	金兵衛
同壹斗五升	六右衛門
同壹斗五升	甚三郎

参の裏

一、米八斗	一、米五斗 壹人貳斗四升 壹人貳斗四升	一、米三石六斗	一、米貳石四斗 壹人二付八斗四升	一、米四石	一、米壹石四斗 壹人二付七斗四升	藤井村
善七 仁左右衛門	市兵衛 八右衛門	市右衛門 浪右衛門	市右衛門 忠右衛門	源太郎 半兵衛	善四良 伊兵衛	庄ヤ 新太夫
同 壹斗	同 壹斗	同 壹斗	同 壹步	利兵衛 次兵衛	善九郎 作兵衛	鐘卷村
源兵 左衛門	源右 衛門	源右 衛門	源右 衛門	藤十郎 利兵衛	道成寺 作平	庄ヤ
米合	白銀合	米合貳拾壹石六斗 五百升六合	米金子 米三斗 米四斗 米六斗 米八斗 白銀百匁	玉置新太夫 盛海	勘兵衛 新兵衛 久右衛門 與兵衛 茂兵衛 七太夫 與太夫	三右衛門 藤兵衛 利右衛門 嵩人二三斗 ツツ 庄兵衛
五石五斗貳升	百目六分	藤井村分	同所分	一、白銀四拾三匁	源兵衛	

四表

同 同 同 同 同 同 銀
貳 三 三 四 五 六 百 小 熊 村 分
勾 勾 勾 勾 勾 勾 三 拾 八 分
五 分 同 林 玉 外 置 四
勇 利 武 傳 重 丈 千 分
右 左 右 左 衛 衛 衛
吉 助 助 門 門 門

享 和 三 年 癸 亥
御 輿 再 興 寄 附 覺
八 月

市 壱 人 壱 斗 ツツ
一、米 三 斗
是 迄 藤 井 村 分
同 同 同 同 白 銀
五 壱 三 五 五 夷 斗 三 升
勾 外 外 外 三 分
弥 喜 弥 伊 六 源 弥 玄 五 濱 市 十 郎
三 右 太 兵 右 次 十 兵 郎 衛 門
郎 衛 吉 郎 衛 衛 七 兵 郎 衛 門
門 門 衛 衛 衛 門 門

惣 高
同 同 同 同 銀 百 姓
三 三 四 四 四 七 中
勾 外 外 外 外 外 三 分
油 屋
弥 平 藤 仁 孫 五
左 三 郎
助 吉 六 衛 郎 右
門 衛 門

是 迄 鐘 卷 村 分
同 白 同 同 同 同 同
五 銀 壱 三 參 壱 斗 五 升
斗 貳 斗 斗 斗 斗 斗
五 八 半 市 角 角 甚
兵 右 右 三 三 衛 衛 郎 郎 助 六
衛 衛 衛 衛 衛 門 門

白 銀 合
百 拾 七 夷 五 鐘 卷 村 分
同 所 分

銀貳匁宛

甚吉・茂右衛門・傳吉・庄助・佐平・栄藏・藤次郎

左市・利兵衛・善藏・太郎八・長助

松太夫・千藏・與藏・忠藏・徳次

孫吉・元右衛門

同 壱匁貳分ツツ

新左衛門・松兵衛

勇助・併助・吉平・菊右衛門・松右衛門

甚四郎・金助・勘吉

平助・清藏・伊右衛門・専助・忠七

甚助・玉置順益

人別不同
同 七匁四分
人別不同

孫右衛門・太郎三郎

吉藏・與兵衛・傳助・林助・次助

丈助・又市・孫四郎

武右衛門・重助・和助

銀五匁

肝煎平左衛門

主膳

惣高

五百五

三百五十五

銀三匁

貳匁拾目

喜作・喜作

九兵衛・九兵衛

藤兵衛・藤兵衛

宗兵衛・宗兵衛

利助・利助

新五郎・新五郎

百姓中
四一貳三三三
匁匁匁匁匁匁
三分五
駒嶋屋田
来藤儀友伊賢
迎右右藏
寺衛助彦衛
門門

合銀四百六拾九匁壹分

人別不同
同 七匁四分
人別不同

孫右衛門・太郎三郎

吉藏・與兵衛・傳助・林助・次助

丈助・又市・孫四郎

武右衛門・重助・和助

銀五匁

肝煎平左衛門

主膳

惣高

五百五

銀二匁

貳匁匁匁匁匁

久快瀬戸八郎衛門

主膳

惣高

駒嶋屋田

喜作・喜作

九兵衛・九兵衛

藤兵衛・藤兵衛

宗兵衛・宗兵衛

利助・利助

新五郎・新五郎

四の裏

一、喜助 才藏 嘉平 伊三郎 伊兵衛 種藏 良藏

銀	九拾八匁貳分	銀	高	百姓中
四匁三分	人別 不同	四匁	同	五匁
久藏 忠助	文之丞 源助 忠兵衛	拾匁 角太夫	同	五匁
一、	文之丞 源助 忠兵衛	道成寺	茂右衛門	文右衛門
一、	文之丞 源助 忠兵衛	市兵衛 文藏 柳藏 新六 庄藏 善兵衛	高	百姓中
久藏 忠助	文之丞 源助 忠兵衛	壹匁五分宛 三平 多右衛門	同	五匁
銀	四匁三分	銀	同	五匁
一、	文之丞 源助 忠兵衛	壹匁五分宛 三平 多右衛門	四匁	半四郎
久藏 忠助	文之丞 源助 忠兵衛	市兵衛 文藏 柳藏 新六 庄藏 善兵衛	四匁	半四郎
銀	四匁三分	銀	高	百姓中
一、	文之丞 源助 忠兵衛	壹匁五分宛 三平 多右衛門	高	百姓中
久藏 忠助	文之丞 源助 忠兵衛	市兵衛 文藏 柳藏 新六 庄藏 善兵衛	高	百姓中
銀	四匁三分	銀	高	百姓中

庄藏	清左	立門	源七	角兵衛	德右衛門	森助	四郎右衛門
彦助	大助	文七					
銀十九匁六分貳厘	人別不同						
宗藏	政吉	武平	弥太郎	爲助	甚助	武助	平藏
新太郎	藤太夫	弥助	文藏	七平	喜助	忠助	
弁助	源藏	杢兵衛	定助	弥八郎	弥平次	藏之助	
武兵衛	甚吉	杢助	森右衛門	文右衛門	次助	柳助	
市兵衛	傳藏	喜平	竹市				
銀拾匁	肝煎	傳兵衛					
合銀	四百七拾四匁貳分	一、同	二十四匁	瀨戶	賀右衛門		

半助

三
三

辛助

甚兵衛
量力

口川
不明

銀貳百七拾七匁六分
小池

角兵衛

一、百姓中

金白白金白銀
之銀銀子銀貳

百七

五五貳貳七
空匁匁百枚拾
匹

銀 銀 金 金 白
子 子 銀
拾 拾 百 百 五
匁 貳 止 止 匚
匁

銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 金 金 白
子 子 銀

円用助	嘉忠右	伴五	銀銀銀銀銀銀銀銀	金金子子銀銀
・・銀	衛郎	・銀	三三四四五五七	拾拾百百五
新才藏	門久	・次大工	匁匁匁匁匁匁匁匁	貳貳疋疋匁匁
七一	・勇	新郎	貳	匁匁

同米屋中山森屋七村作良木屋大工鍛冶ふじ足袋足宛忠七兵衛・孫・助・次右衛・善右衛

善兵衛久右衛門九助
伴右衛門屋傳藏十二郎嘉兵衛
屋德三郎忠藏助右衛門
屋庄忠兵衛三郎三郎
定市次助新兵衛

衛 宇 兵 門
・ 宇 兵 門
・ 吉 藏
三 藏 德 太 夫
・ 佐 平 孫 左
・ 十 武 庄 二
・ 五 金 金
・ 金 金
・ 金 金
・ 金 金

貳 貳
百百
疋疋
勾勾勾勾勾勾勾勾勾勾
五分

藤屋武平 北出屋茂助 木屋利平 藥種屋藤兵衛
鍛冶屋七兵衛 油屋壽仙 脇田兵衛 鍛治屋
傘米喜助 屋宗兵衛 鍛治屋七兵衛 藥種屋
鍛治屋七兵衛 油屋壽仙 脇田兵衛 木屋利平
屋喜助 屋宗兵衛 鍛治屋七兵衛 藥種屋藤兵衛
治屋定六 兵衛 傘米喜助 屋宗兵衛 鍛治屋
傳兵衛 武八 鍛治屋七兵衛 藥種屋藤兵衛
門柳助 石衛門 兵衛 傘米喜助 屋宗兵衛 鍛治屋

辰右衛門・嘉八・惣次郎・庄吉・彦兵衛・弁藏
孫助・次平・文七・佐助・武助・忠次・直吉

銀 壱匁五分 人別不同

一、源七 太郎兵衛 嘉藏 久助 新吉 才助 利助

喜八 利三郎 文五郎 傳兵衛 與助 万藏 德藏

宗助 定助 市兵衛 伊八 茂八 太助 藏善 幾右衛門

金子 壱両 兵藏 儀八 肝煎 庄兵衛

貳百疋 濑戸佐太夫 一、銀 七匁

庄屋 濑戸文助

四両壹歩

六百七拾五匁三分

九百四拾五匁六分

但 七拾三匁六分口へ

惣合 貳貫四拾六匁九分

但 諸払帳面藤井村瀬戸又次郎方ニ有之事

所願成就如玄満足

千穏万歳樂

五(壹枚)

土生庄村屋

賀右衛門

同村肝煎

德右衛門

丙文化三年寅霜月十六日

八幡宮

瀬戸主膳

小熊庄村屋

德右衛門

奉假御殿上棟氏子繁栄五穀成就祈所

飛鳥宮

大工 新兵衛

小工 又兵衛

藤井村莊屋先役
同村肝煎 文助

同村肝煎 德右衛門
庄兵衛

不明
 不明
 不明

六の表

八幡飛鳥 御兩宮 假御相殿 御造當 文化三寅年八月勸化 銀米氏下

三ヶ村八寅卯兩年寄附 小熊村八寅亥ヶ年

土生村 肝煎 清賀右衛門

庄屋 清賀右衛門

二、一、一、
同 同 同 銀 同 銀 米
五 分 式 五 升
壹 三 壱 斗 式 斗
斗 升 斗 式 斗
升 升 五 升

寅卯寅卯寅卯寅寅
宗兵衛 伊右卫門 喜兵衛
一、一、一、
同 同 同 同 同 米
壹 壱 壱 三 貳 三 八
升 升 升 升 升 升

寅卯寅卯寅卯寅寅
弥 松 庄
吉 助 藏

回 回

五升
壹步

五
合

卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅

竹忠武喜嶋田來儀文惣喜久兵伊
市助右衛門助賢道迎寺助藏衛吉助八

同 同

一
三
升

卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅

定助 源藏 権右衛門 良藏 佐助 源七 角兵衛 利助 儀八 文右衛門 政吉 新太郎 快行院 善藏

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

同 同

式 壱 三 壱 七 三 七 二 三 八 三 五 貳 七 壱 五 壱 五 三 壱 壱 式 壱 式 七 貳 三 壱
升 斗 升 升 分 升 分 升 升 升 升 升 升 升 升 升 升 升 升 升 斗 升 斗
式 四
升

卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅

喜	久	弥	源	藤	七	清	伴	友	忠	柳	岩	三	良
助	四	平	次	右	兵	右	助	藏	右	助	平	右	三
助	郎	次	助	衛	衛	衛	藏	衛	衛	助	平	衛	郎
				門		門		門					

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一

同 同

三 一 五 一 一 二 一 五 一 三 三 七 三 壱 五 壱 七 壱 六 式 三 壱 三 壱 壱 式 壱 貳
分 升 合 升 升 升 升 升 升 升 升 分 分 升 升 升 升 升 升 升 斗 升 升 升
式 厘

卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅

甚	平	爲	重	弥	武	彥	藤	藤	喜	甚	市	柳	市
助	藏	助	三	太	兵	助	藏	太	次	兵	兵	助	兵
			郎	夫	衛			夫	郎	衛			

六の裏

小熊村分

庄屋貞助

肝煎平右衛門

卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅	寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅
黒江衛右次郎太吉助	庄利喜九ぶん次乙武
忠兵衛門	兵衛作衛七助
一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一
同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同	同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
銀米	壹五壹五三壹五五貳貳壹壹貳壹三貳壹壹七 斗斗斗斗升合合升升升升升升升升升升升升升升
拾六石七匁七斗八分九厘	卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅
瀬戸賀右衛門清右衛門	甚右衛門茂兵衛四郎右衛門大助武右衛門十助半藏
主膳	初湯川喜兵衛後家

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
同同同同同同同同同同米同同同同同同同同同同米
壱貳三貳壱貳五五貳三貳五壱壱五貳貳三三貳貳三三貳
升升升升升升合升升升升斗合升升升升升升升升升升

佐清源甚和伊次新菊丈勘甚平長藤弥甚新新仙秀久松藤千惣喜
次右兵右右太四右兵次
兵藏助吉助衛衛衛助夫郎吉藏六市衛平藏助助藏衛郎藏助助
衛門門門門門

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
同同同同同同同同米銀米銀同同同同同同同同米
壱壱五五三七三五五貳五五三貳壱三貳六貳壱壱三貳五壱
升升升升升升合升升升厘升匁升升升合升升升升升升

市次丈十作藤仁專孫喜元弥孫孫五林忠九善文半柳宇傳三源甚
右右右兵右左右四右右三兵太
平衛衛衛衛衛衛郎藏工助工郎市助七助藏助藏藏衛助藏郎藏
門門門門門門

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
同同同同同同同同同同米同同同同同同同同米
七四貳貳三壱五貳三貳壱五貳壱五貳五壱五貳五壱五貳三貳
升升升升升升升升斗升升升升合升合升升升升升

佐弥勘勇武右專十武甚岩弥專勇太柳長庄佐吉久四い次吉十平
右近右右郎右
市吉吉吉衛衛吉藏衛助藏助衛吉八助助助藏吉平わ助平衛助
門門門門門

七の表

一一一、一一一、

同 同 同 同 同 同 同 同 同 米

五 壱 廿 参 壱 廿 壱 四 壱 壱
升 升 升 升 升 升 升 升 斗

寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅

善	兵	甚	市	忠	文
兵	衛	兵	衛	助	藏

一一一、一一一、

同 同 同 同 同 同 同 同 米

五 五 五 五 壱 廿 廿 三 三 五 壱
升 合 合 合 升 升 升 升 合 升

寅 卯 寅 寅 卯 寅 卯 寅

嘉	伊	權	嘉	新	良
六	助	藏	兵	六	藏

飛 八 幡

御 兩 宮 假 御 相 殿 御 造 堂
氏 下 三 ケ 村 ハ 寅 卯 兩 年 寄 附 小 熊 村 ハ 寅 壱 ケ 年

鐘 卷 村

土 生 村 庄 屋 賀 右 衛 門
肝 煎

一一一、一一一、

同 同 同 同 同 同 同

壹 三 三 廿 五 廿 五 廿
升 升 升 升 升 升 升

嘉	貞	兵	乙	傳	茂	三
兵	兵			右	右	太
衛	衛	藏	助	工	工	夫
				門	門	

一一一、一一一、

同 同 同 同 同 同

壹 廿 壹 廿 廿 五 壱
斗 升 斗 升 升 升 升

利	矢 田	平	貞	德	玉	定
助	善	右	右	助	置	助
	衛	衛	助	次	元	次
	門				順	

銀 米 一、

貳 石 九 斗 同

分 五 厘 五 升

厘 升 七 五 升

藏 七 合 專

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

銀同銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀

貳貳一五五壹貳壹七貳七三六三
厘升分升厘升分升分升分升分升
五厘五厘升

七二八三六貳十三貳壹貳三拾
勾斗勾斗勾斗二斗勾斗勾斗八
勾升

卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯

忠	久	利	藤	佐	忠	嘉	宗	長	九	德	宗	善
次	次	郎	助	七	七	藏	七	兵衛	助	右衛門	兵衛	兵衛

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

銀米銀米同同銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米同米同

五貳五貳七五壹五七三六五三
分升分升分分分升分升分升
五厘五厘升

七五七貳貳五五貳五壹貳
分升分升分合勾斗勾斗
斗

卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯

次	次	平	宇	久	彌	利	伴	用	久	藤屋	萬
右	助	藏	兵	藏	兵	三郎	吉	助	助	武兵衛	藏
衛											

七の裏

一、一、一、一、一、一、一

銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米

貳壹五貳五貳五貳三三三壹三壹升
匁斗分升分斗分升分升分升分升

卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅

新兵衛	與助	儀助	忠郎	林衛	甚助	傳兵衛
-----	----	----	----	----	----	-----

一、一、一、一、一、一、一

銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米

六貳五三二壹三五三壺三壹五三
分升分升匁斗分合分升分升分升

卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅

善右衛門	吉平	喜助	市兵衛	庄助	松助	久兵衛
------	----	----	-----	----	----	-----

一、一、一、一、一、一、一

銀米銀同同銀銀米銀米

五壹壹三壹五貳壹五壹升
匁升匁升匁升匁升匁升

卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅

文五郎	忠右衛門	定市	新吉	才助
-----	------	----	----	----

一、一、一、一、一、一、一

米銀米銀米銀米銀米銀米

五貳壹三壹七參壹參
升分升分升分升匁升

寅卯寅卯寅卯寅卯寅

文藏	平助	喜兵衛	柳助	武兵衛
----	----	-----	----	-----

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米銀米同米

壹六壹三壹六五三五貳五三壹五五貳五三六五三貳貳三壹三
匁升匁升匁升分升分升分升匁升分升分升分升匁升匁升
五分

卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅寅

庄三郎	角屋新兵衛	武助	幸助	吉助	源七	李右衛門	吉郎	忠衛	宇吉	弥助	伊助	金屋傳兵衛	佐次郎
-----	-------	----	----	----	----	------	----	----	----	----	----	-------	-----

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

銀米銀米銀米同米銀米同米銀米銀米銀米銀米銀米銀米

壹三壹三壹五三三五貳貳五三六五壹貳三貳貳壹三壹四壹七五
匁升匁升分升升升分升升升分升升升分升分升匁斗分升分升匁斗分升
五厘

五分

八厘

卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅卯寅

丈助	弁藏	嘉右門	善藏	庄吉	惣次郎	玉右衛門	忠藏	十次郎	新藏	梅次郎	円助	伴右衛門	專助
----	----	-----	----	----	-----	------	----	-----	----	-----	----	------	----

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一
銀米 銀米

貳 壱 三 壱 貳 壱 四 五 壱 壴 貳 壱 五 三 三 貳 三 貳 五 三 五 貳 三 壱
匁 斗 分 升 匁 斗 匁 升 匁 斗 匁 斗 匁 分 升 分 升 分 升 分 升 分 升 分 升
五 分 五 分

卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅

中山長藏	吉	嘉	利	茂	伊	七	辰	惣	定	十	源
	藏	兵	兵	吉	八	兵	右衛門	兵	助	藏	兵
		衛	衛			衛		衛			衛

一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一
銀 銀 米 米 銀 米 銀 米 銀 米 銀 米 銀 米 銀 同 同 米 銀 米 銀 米 銀 米

壹 壱 壱 貳 六 壱 六 壱 拾 六 五 壱 五 三 壱 五 五 貳 壱 四 貳 貳
匁 斗 斗 匁 斗 匁 斗 匁 斗 八 斗 分 廿 斗 匁 升 匁 升 匁 分 升 匁 升 匁 分 升
五 分 四 五 匁 分 匁 分 匁 分 匁 分 匁 分 匁 分 匁 分 匁 分 匁 分 匁 分 匁 分 匁 分

寅 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 寅 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅 卯 寅

伴 助	脇 田 口 口	專 念 寺	瀨 戸 十 兵 衛	傳 藏	孫 兵 衛	小 池 角 兵 衛	嘉 八	庄 藏	勇 助	定 六	勘 五 郎	德 兵 衛	孫 助
-----	---------	-------	-----------	-----	-------	-----------	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-----

八ノ表

八ノ裏

九の表

維持天保九
戌 戊
年
奉造當 天下泰平五穀成就
神瀬戸相模 小熊村庄屋
澤右衛門 土生庄村屋
小熊村庄屋
定九助
土生右衛門
利角弁
新助助
左衛門
新利角弁長
助助
左衛門
十吉郎
門

			日高郡土生村			
			八幡宮			
			飛鳥神社			
			同村肝煎	同村肝煎	同村肝煎	同村肝煎
			藤井村庄屋	藤井村庄屋	藤井村庄屋	藤井村庄屋
			三右衛門	伊右衛門	伊右衛門	伊右衛門
			吉	六	治	吉
					郎	
						左衛門

九の裏

飛鳥大明神
御武運長久氏下繁栄
二月吉日

藤原保慶
敬白
鐘巻藤井半右衛門吉
小太郎九長右衛門藏
清兵衛右平衛門
鐘巻藤源半佐井村
四郎十郎太兵衛吉

野口村社司

伊藤

藤美原津
謹祐殿
忠

花押

人話

小太郎九長右衛門藏
清兵衛右平衛門
鐘巻藤源半佐井村
四郎十郎太兵衛吉

十

彦
天
富
命
挾
知
之
命
手置帆廻命

奉納日
御月
棟札

添近棟
塩野原梁
路尻工新
弥仁兵兵
兵衛衛衛

あとがき

一、ここにあつめた棟札は矢田八幡神社々務所に保管されてゐたものである。

昭和二十六年八月十五日同社所藏の石棒を見る爲、芝口・巽・玉置・古川・野田の諸氏と

ここを訪れた際、押入の中から発見した。

二、棟札はすべてで拾枚あつた。各頁右肩に記せる数字はその番号である。

この中最も古いのは、一の寛永三丙寅年（西一六二六年）のものであるが、これは裏面の文書中 本願從玄子村氏子 とあるによつて、早蘇村玄子内にあつた小祠であつたことが知れる。

三、式は少し下つて寛永十四年（西一六三七年）これも同じく「けんこ村敬白」とある文字や、裏面の『玄子寺貞残奉書也』の文字によつて、玄子村地内の小祠と知られる。そして村人の面々がぬの子をそれゞ寄進してゐる点が面白いし、大砂妙現神の神名は、恐らく日高川沿ひの砂地に祭られてゐたことを思はせる。矢田村大字小熊には大砂の小字名がある。

四、この二枚は明治末年神社合祀の際、棟札も同時に移されたものであろう。

五、三枚目は元禄六年（西一六九三年）のもので、此の時は御両社御造営とあるから、八幡・飛鳥両社を御造営したものである。氏子寄附名の快行院とあるが、これは何村にあつたものなるや今明かでない。

六、四枚目は享和三年（西一八〇三年）御神輿寄附覺で、これは棟札と同じ型の板に書附られてゐるが棟札ではない。今祭礼に使用されてゐる神輿はこの時のものと思われる。

七、五・六・七の三枚は八幡・飛鳥両社の假御相殿御造営の寄附名扣で、これも棟札様の薄板に書きつけられてゐた。文化三寅年（西一八〇六年）と云うから、先きの御造営から百七年目にあたる。その後三十一年目の天保六年に至り、両社の御神殿が御造営された（西一八五六年、即ち現今の神殿である）。尚神社の記録によつて、大正四年に神輿庫を・大正五年に社務所を・昭和七年九月に式殿及び拝殿が、それぞれ造営された事を知る。

第八枚目は年月日も村名も記載なく不明であるが、棟梁及近工・添の三名が、何れも藤井地内の小祠のものと思はれるのである。

清水 長一郎 識

『矢田八幡神社所蔵棟札寫』を写し終わつて

表題には矢田八幡宮となつてゐるが、最近では土生八幡宮で通つてゐる。土生八幡は明治の合祀で、御坊市藤井・矢田村・早蘇村玄子、早藤、蛇尾の多くの神社を合祀した。写本中氣付いた事は、今も残つてゐる屋号や名前があり、又一八八〇年代になると、農村の土生・小熊村と、日高川筋の商業地として発展途上の藤井村では、経済力に差が発生したのか、大口寄附者数や大口寄附額に格差が出てゐる。

平成十七（二〇〇五）年三月十一日

清水 章博

使用ワープロソフト JUSTSYSTEM 『I太郎 2005』 Windows Me & 98